

屋上を入力する方法

文書管理番号：1223-01

Q. 質問

屋上を入力したい。

ルーフバルコニーを入力したい。

A. 回答


屋上への入力方法は、屋根伏図でパラペットを使用する方法と、プラン図でバルコニーを使用する方法があります。

ここでは、下図のように塔屋を3階で入力した場合の、屋上への入力方法を説明します。

* 下図は、パラペットを使用して屋上を入力した例です。



間取りの入力方法は省略します。

 (プラン図)で1階、2階の間取り、および3階に塔屋の間取りを入力後に行ってください。

塔屋の入力方法については、こちらをご覧ください。

[\[1224\] 塔屋の入力方法](#)

操作手順：屋上をパラペットで入力する方法

① (屋根伏図)で 2 階を表示

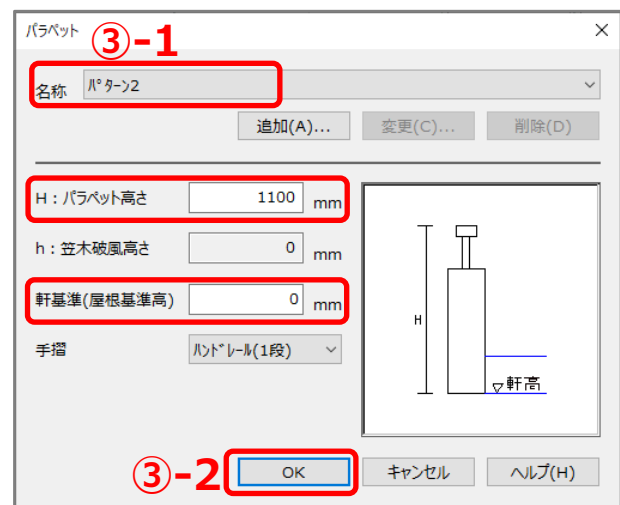
② (パラペット)をクリック

* パラペットの設定画面が表示されます。

③ パラペットの各項目を設定し、「OK」をクリック

* ここでは、名称「パターン 2」、パラペット高さ「1100」mm、軒基準「0」mm、手摺「ハンドレール (1 段)」に設定します。

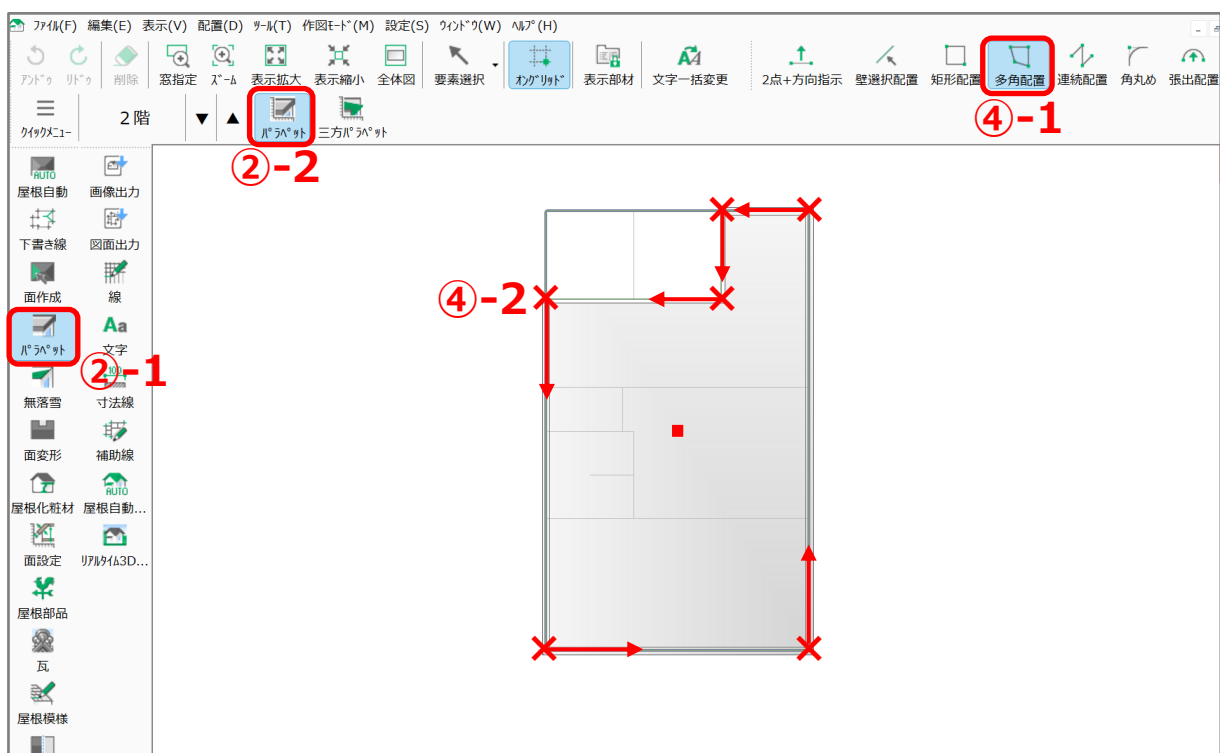
* 手摺が腰壁の場合は「パターン 5」、縦格子の場合は「パターン 4」を選択してください。



④ (多角配置)をクリックし、屋上の範囲を順にクリック

* 範囲を示すピンク色の面がマウスと共に動き、スタートポイントに戻るとパラペットが配置されます。

* スタートポイントの一つ手前の位置でクリック後、ダブルクリックまたは[スペース]キーを押してもかまいません。



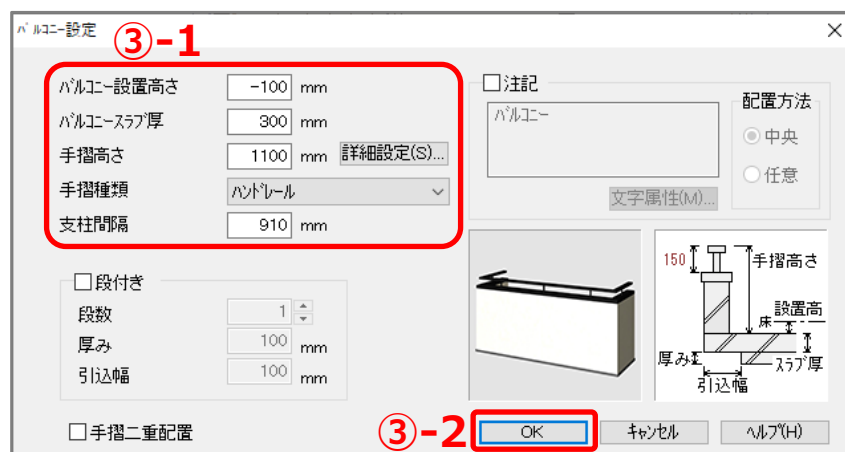
* パラペットが配置されます。

- ⑤ (3D パース)で確認



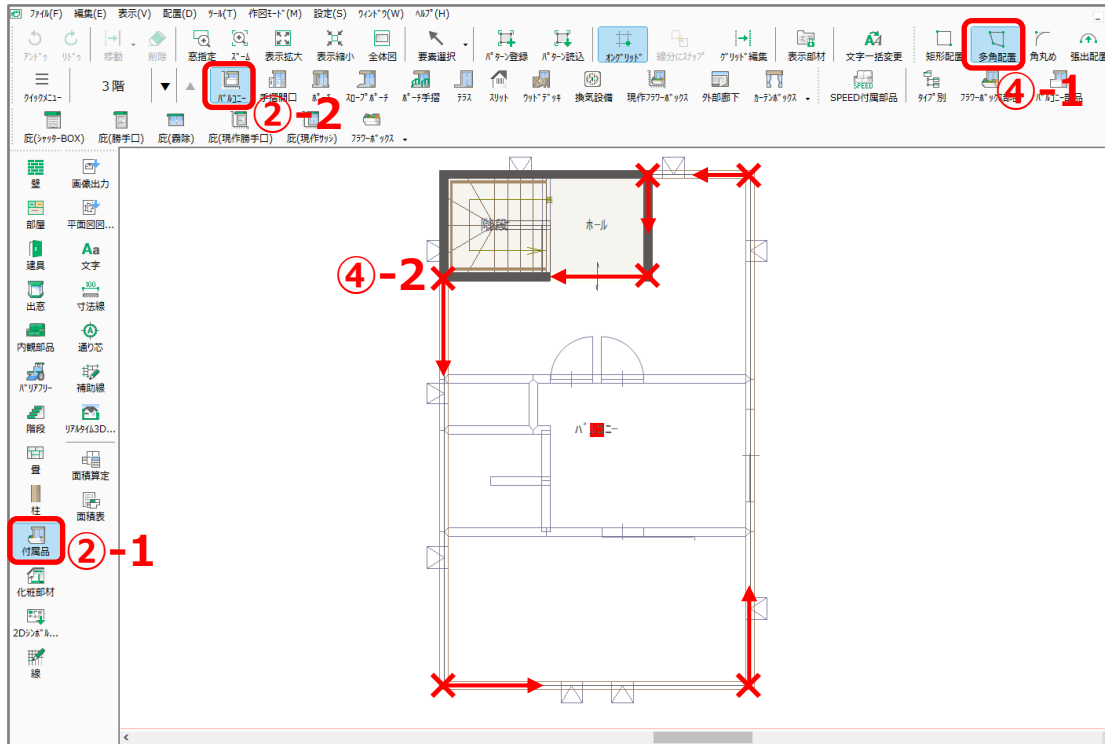
操作手順：屋上をバルコニーで入力する方法

- ① (プラン図)で 3 階を表示
- ② (付属品)の (バルコニー)をクリック
 * バルコニー設定の画面が表示されます。
- ③ バルコニーの各項目を設定し、「OK」をクリック
 * ここでは、バルコニー設置高さ「-100」mm、バルコニースラブ厚「300」mm、手摺高さ「1100」mm、手摺種類「ハンドレール」、支柱間隔「910」mm とし、「段付き」「手摺二重配置」「注記」のチェックは外します。



④ (多角配置)をクリックし、屋上の範囲を順にクリック

- * スタートポイントに戻ると、バルコニーが配置されます。
- * スタートポイントの一つ手前の位置でクリック後、ダブルクリックまたは[スペース]キーを押してもかまいません。



- * バルコニーが配置されます。

⑤ (3D パース)で確認



【参考】 小屋裏に塔屋を配置する場合

プラン図でバルコニーを使用して屋上を入力してください。

その場合、バルコニーは小屋裏に配置します。